

# 小平市東部地域の外国籍住民の意識調査報告 —地域コミュニティづくりにおける多文化共生の可能性をさぐる—

The Attitude Survey for Foreign Residences in Eastern part of Kodaira City  
-Finding the possibility of multi-cultural coexistence in the process of  
organizing the community-

瀧口 優\*・加藤 洋子\*\*・金田 利子\*\*\*・主藤 久枝\*\*\*\*・  
松田 佳尚\*\*\*\*\*・源 証香\*\*\*\*\*・森山千賀子\*\*\*\*\*

## I. 調査の目的

白梅学園大学・短期大学を中心として日本学術振興会科学研究会助成事業に申請し「地域コミュニティづくりにおける世代間交流の価値—保育者の意識変化から」(20K02669)として認可され(研究代表：瀧口優)2021年7月から8月にかけて上記「小平市の外国籍住民の意識調査」を実施した。調査の目的は「小平市に在住する外国籍の住人がどのような困難を抱えどのような要求を持っているのかをつかみ、保育所を中心とした地域ネットワークにどのように組み込んでいけるのかを明らかにする」(研究倫理申請書)ことであった。

## II. 調査の方法

調査の実施にあたっては、質問項目の検討や調査方法、分析等について小平市及び小平市国際交流協会の協力を得ている。調査地域は小平市東部の学園東町、鈴木町、花小金井、仲町、天神町である。2021年3月末に小平市の市民課において住民基本台帳を閲覧して872世帯の住所を確認し、調査用紙を送っている。日本語と共に、氏名を参考にしながら、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、英語の各版を選んで送付した。7月18日に投函したが、その後92通が宛名不明で戻ったため、実際に届いた数は780通である。回収は88通で回収率は11.3%となる。以下数字については実数と%で表記する。設問の( )内の数は回答者の実数であり、各%はこの実数を母数としている。

## III. 結果と考察

### 1. 小平市の住居環境

問1. あなたが日本に滞在する理由は何ですか？(○はいくつでも)(88)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 勉強のため	33	37.5%	2. 観光のため	10	11.4%
3. 職業技術を得るため	18	20.5%	4. お金を得るため	24	27.3%
5. 結婚のため	24	27.3%	6. 政治的自由を求めて	2	2.3%
7. 日本の国にあこがれて	19	21.6%	8. 親の都合	1	1.1%
9. 日本で生まれた	6	6.8%	10. その他	23	26.1%

【コメント】最も多いのが「勉強のため」であるが、留学生での回答が多いこともあるのではないかと。「お金を得るため」がそれに続いている。その他は仕事や家族に関するものが多い。

\* 白梅学園短期大学名誉教授  
\*\* 聖心女子大学 准教授  
\*\*\* 客員研究員 フェリシアこども短期大学  
\*\*\*\* 保育科  
\*\*\*\*\* 子ども学部 発達臨床学科  
\*\*\*\*\* 子ども学部 家族・地域支援学科

問2. あなたにとって小平市は住みやすいところだと思いますか？（○は1つだけ）（87）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 非常に住みやすい	23	26.4%	2. まあ住みやすい	37	42.6%
3. ふつう	24	27.6%	4. やや住みにくい	3	3.4%
5. 非常に住みにくい	0	0%			

【コメント】「非常に住みやすい」と「まあ住みやすい」を合わせると70%ほどとなり、外国籍住民にとって小平は比較的住みやすいところとなっている。

問3. あなたやあなたの家族が日本の生活で困っていることや不満なことがありますか？

（○はいくつでも）（88）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. ことば	30	34.1%	2. 情報	12	13.6%
3. 住居	6	6.8%	4. 病院・医療	7	8.0%
5. 年金	6	6.8%	6. 子育て	5	5.7%
7. 仕事	13	14.8%	8. 災害時・緊急時の対応	8	9.1%
9. 近所づきあい	10	11.4%	10. 友人が少ない	30	34.1%
11. 日本人とのトラブル	6	6.8%	12. 日本人からの偏見・差別	16	18.2%
13. 日本人が閉鎖的である	14	15.9%	14. 物価が高い	17	19.3%
15. 選挙権がない	15	17.0%	16. 職種によっては公務員になれない	8	9.1%
17. その他	6	6.8%	18. 特になし	15	17.0%

【コメント】最も多いのが「ことば」続いて「友人が少ないこと」となっている。回答を寄せてくれた方は日本語についても一定の能力があるので、ここに回答されない人々は更にこの割合が高いと思われる。

## 2. ことば（日本語学習）

問4. あなたは日本語に関して困ることがありますか？（○は1つだけ）（87）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. ある	43	49.4%	2. ない	44	50.6%

\* 1. ある→問4-1へ      2. ない→問5-1へ

【コメント】ほぼ半数の方が日本語に関して困ることがあるとなっている。

問4-1. 【上の問4で「1. ある」と答えた方のみ】それはどんなことですか？（○はいくつでも）（43）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. ひらがな・カタカナを読むこと	5	11.6%	2. ひらがな・カタカナを書くこと	6	14.0%
3. 簡単な漢字の読み書き	8	18.6%	4. 日常会話	21	48.8%
5. 日本語のテレビやラジオのニュース	19	44.2%	6. 日本語の新聞やお知らせを読むこと	27	62.8%
7. 役所や病院での説明を理解すること	19	44.2%	8. その他	8	18.6%

【コメント】「日本語の新聞やお知らせ」「日常会話」が多いが「役所や病院での説明を理解すること」「日本語のテレビやラジオのニュース」も多く、生活に関わる部分での言葉上の「困りごと」が少なくないといえる。

問5. あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか？（○は1つだけ）（63）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 現在学んでいる	38	57.5%	2. これから学びたい	18	27.3%
3. 学びたいとは思わない	10	15.2%			

\* 「1. 現在学んでいる」「2. これから学びたい」を選んだ人は問5-1へ

【コメント】6割近い人が「現在学んでいる」ということで、全体として日本語への意識が高い。

問5-1. 【上の問5で、「1. 現在学んでいる」「2. これから学びたい」と答えた方のみ】

どのような方法で学んでいますか？または、これからも学びたい方はどのような方法で学びたいですか？（○はいくつでも）（45）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. テレビ・ラジオの講座、通信教育、テレビ・新聞・映画などを利用して	30	66.8%	2. ボランティアなどによる日本語教室	15	33.3%
3. 日本語学校	8	17.8%	4. 大学などの講座やコース	15	33.3%
5. 家庭教師	0	0%	6. 家族	16	35.6%
7. 友人	13	28.9%	8. 職場	28	62.2%
9. その他	10	22.2%			

【コメント】留学生が多いため「大学などの講座やコース」が多くなっているが、基本的には「職場」「友人」「家族」である。

問6. 小平市内には、小平市国際交流協会主催の日本語教室やボランティアによる日本語教室があります。あなたは日本語教室がもっと利用しやすくなるために、今後どのようなことが重要だと思いますか？（○はいくつでも）（88）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 日本語教室の場所と時間をもっと広く案内する	49	55.7%	2. 夜間も利用できる	17	19.3%
3. 休日・祝日も利用できる	31	35.2%	4. 子どもづれでも利用できる	8	9.1%
5. 子ども向けの日本語教室を充実させる	8	9.1%	6. 中級以上の日本語教室を増やす	39	44.3%
7. その他	6	6.8%	8. わからない	8	9.1%

【コメント】「日本語教室の場所と時間をもっと広く案内する」が最も多く「中級以上の日本語教室を増やす」ことが続く。「休日・祝日も利用できる」を含め、日本語教室への要望は強いことが分かる。

### 3. 地域での交流

問7. あなたは近くに住む日本人とどのような付き合いがありますか？（○は1つだけ）（98）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. あいさつをする程度	43	44.0%	2. 日常生活のことを話す	11	11.2%
3. 何か困ったときに助け合っている	6	6.1%	4. 友人として付き合っている	9	9.2%
5. 家族同様に親しく付き合っている	6	6.1%	6. その他	2	2.0%
7. 全く付き合いがない	21	21.4%			

【コメント】「あいさつをする程度」が最も多いが、「全く付き合いがない」がそれに続いている。いずれにしても地域に根ざしていないことが分かる。

問8. あなたは、普段どのような方と付き合うことが多いですか？最も多いものを選んでください。

(93：複数回答をした人がいるため)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 日本人と付き合うことが多い	38	40.8%	2. 同じ国の人と付き合うことが多い	28	30.1%
3. 同じ国以外の外国人と付き合うことが多い	9	9.7%	4. その他	4	4.3%
5. 人付き合いはあまりない	14	15.1%			

【コメント】「日本人と付き合うことが多い」人が40%、「同じ国の人と付き合うことが多い」が30%、「人付き合いはあまりない」人が15%ほどとなっている。

問9. 地域社会の一員として、あなたが日本人に望むことは何ですか？（○はいくつでも）(85)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. あいさつなど親しく声をかけてほしい	21	23.9%	2. 生活ルールを教えてほしい	12	13.6%
3. 自分達の文化や習慣などを理解してほしい	24	27.3%	4. 自分達のことばを理解してほしい	5	5.7%
5. 地域の行事やイベントなどに誘ってほしい	30	34.1%	6. 偏見や差別をなくしてほしい	39	44.3%
7. その他	3	3.4%	8. 特になし	16	18.2%

【コメント】「偏見や差別をなくしてほしい」がほぼ45%に近い。また「地域の行事やイベントなどに誘ってほしい」も30%を越え、積極的に地域に関わろうとする姿が読み取れる。

#### 4. 情報提供・相談体制

問10. あなたが生活の情報を得る手段としてどのようなものを最も活用していますか（○は1つだけ）

(118: 複数回答した人がいるため)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. テレビ	15	12.7%	2. ラジオ	0	0%
3. 新聞	2	1.6%	4. インターネット	69	58.5%
5. 行政のHP	8	6.8%	6. ツイッター	9	7.6%
7. Facebook	12	10.2%	8. その他	3	2.5%

【コメント】圧倒的にインターネットが多い。行政のHPを活用する数が少ないのは必要な情報が手に入らないということになる。

問11. あなたは小平市で生活していく上で、どのような情報が必要だと思いますか（○はいくつでも）(88)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. ゴミの出し方やリサイクルの方法などの生活情報	28	31.8%	2. 防災や地震についての情報	29	33.0%
3. 福祉に関する情報	27	30.7%	4. 医療や健康保険に関する情報	38	43.2%
5. 税金・年金に関する情報	29	33.0%	6. 子育て・教育に関する情報	23	26.1%
7. 住まいに関する情報	16	18.2%	8. お祭などのイベント情報	32	36.4%
9. いろいろな情報を一ヶ所で配布してほしい	20	22.7%	10. まちの中の表示に外国語併記を増やしてほしい	10	11.4%
11. 外国語による小平市の情報（広報紙、パンフレット、資料等）を増やしてほしい	17	19.3%	12. ホームページによる情報の提供	18	20.5%
13. その他	2	2.3%	14. 特になし	10	11.4%

【コメント】最も多いのが「医療や健康保険に関する情報」で43.2%、続いて「お祭などのイベント情報」が36.4%、「税金・年金に関する情報」「防災や地震についての情報」が33.0%と続いている。

問12. あなたは日常生活のことで困った時は誰に相談しますか？（○はいくつでも）(85)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 友人・知人（同国人）	48	54.5%	2. 知人・友人（日本人）	46	52.3%
3. 知人・友人（同国人と日本人以外）	5	5.7%	4. 家族・親戚	45	51.1%
5. 職場の同僚	27	30.7%	6. 民族団体・同国人の組織	5	5.7%
7. 教会・寺院	1	1.1%	8. ボランティア団体	4	4.5%
9. 保育園や学校の先生	5	5.7%	10. 東京都や小平市の外国人相談窓口	3	3.4%
11. 民生委員・児童委員・社会福祉協議会	1	1.1%	12. 近くに住んでいる人	6	6.8%
13. その他	4	4.5%	14. 誰にも相談しない	2	2.3%
15. 相談する相手がいない	1	1.1%			

【コメント】最も多いのが同国人の「友人・知人」で54.5%、続いて日本人の「知人・友人」が52.3%「家族・親戚」が51.1%で続いている。民生委員や行政の相談窓口には相談していないということになる。

## 5. 災害時・緊急時の対応

問13. あなたは、災害や事故等のうち、何に不安を感じますか？（○はいくつでも）(88)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 地震・水害などの自然災害	61	69.3%	2. 火事	23	26.1%
3. 病気やケガ	41	46.6%	4. 交通事故	20	22.7%
5. 犯罪	19	21.6%	6. テロ	6	6.8%
7. その他	2	2.3%	8. 特に不安は感じない	11	12.5%

【コメント】「地震・水害などの自然災害」が69.3%で圧倒的に多く、「病気やケガ」が46.6%でそれに続いている。

問14. 地震などの災害が起こった時には、外国人を含めて地域住民が協力し合って対応することが求められます。あなたは小平市にどのような対策を望みますか？（○はいくつでも）(85)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 避難場所の掲示等を多言語にする	32	36.4%	2. 多言語の緊急対応パンフレットを配る	28	31.8%
3. 緊急時に多言語の放送や誘導を行う	33	37.5%	4. 多言語の相談を行う	20	22.7%
5. 地域の防災訓練に誰もが参加しやすいようにする	28	31.8%	6. 地域の人同士の連絡・協力体制づくりを進める	34	38.6%
7. 外国人同士の連絡・協力体制づくりを進める	21	23.9%	8. その他	5	5.7%
9. 特になし	12	13.6%			

【コメント】「地域の人同士の連絡・協力体制づくりを進める」が38.6%で最も多く、「緊急時に多言語の放送や誘導を行う」が37.5%、「避難場所の掲示等を多言語にする」が36.4%で続く。いずれの項目も関心が高く、防災に対する意識の高さが読み取れる。

## 6. 共生のまちづくり

問15. あなたは今までに、近くに住む日本人とトラブルの経験がありますか？（○はいくつでも）（88）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. ゴミの出し方のルールに関する こと	8	9.1%	2. 部屋からの声・物音	15	17.0%
3. ベットに関する こと	4	4.5%	4. 食べ物に関する こと	0	0%
5. 駐車・駐輪に関する こと	2	2.3%	6. 建物の増築・改築	1	1.1%
7. 店舗や宿泊施設の営業に 関すること	0	0%	8. 部屋の使い方に関する こと	2	2.3%
9. 身に覚えのないトラブルの 責任を押し付けられた	6	6.8%	10. ことばの行き違い	8	9.1%
11. その他	5	5.7%	12. 特になし	56	63.6%

【コメント】63.6%は「特になし」であるが、4分の1以上が「部屋からの声・物音」「ゴミの出し方のルール」等でトラブルになっている

問16. あなたは、普段の生活の中で、日本人から外国人に対する偏見や差別を感じたことがありますか。（○は1つだけ）（88）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. よくある	10	11.4%	2. 時々ある	37	42.0%
3. あまりない	28	31.8%	4. 全くない	6	6.8%
5. わからない	5	5.7%	無回答	2	2.3%

【コメント】「よくある」「時々ある」を合わせると半数を越え、外国籍の人々が日々日本人からの偏見や差別にさらされていることが読み取れる。

問16-1. 【上の問で「1. よくある」「2. ときどきある」と答えた方のみ】

偏見・差別はどのような場合にありますか？（○はいくつでも）（47）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 公的機関などの手続きの とき	9	19.1%	2. 日本人の友人との交際の とき	7	14.9%
3. 近所の人との付き合いの中で	14	29.8%	4. 住まいを探すとき	29	61.7%
5. 自分や家族が結婚するとき	2	4.3%	6. 法制度の面で	10	21.3%
7. 社会保障制度の面で	3	6.4%	8. 電車・バスなどに乗って いるとき	18	38.3%
9. 学校など教育の場で	9	19.1%	10. 仕事上で	20	42.6%
11. その他	4	8.5%			

【コメント】最も多いのが「住まいを探すとき」で61.7%に達している。その他「仕事上で」が42.6%、「電車・バスなどに乗っているとき」が38.3%と続く。

問17. 外国人と日本人がともに生活する「共生のまちづくり」を推進するために、市の対応として、あなたが力を入れるべきだと思うことは何ですか？（○はいくつでも）（88）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 日本人との交流会やイベント	40	45.5%	2. 日本の文化や生活情報を多言語で知らせる	17	19.3%
3. 外国の文化や生活情報を紹介する	15	17.0%	4. 多言語での生活相談	14	15.9%
5. 日本語教室	22	25.0%	6. 外国人と日本人の意見交換会・話し合い	35	39.8%
7. NPOやボランティアの育成と支援	9	10.2%	8. 外国人への偏見・差別をなくすための努力	36	40.9%
9. 子どもや留学生への支援	18	20.5%	10. 外国人も意見や提案をしやすくする	24	27.3%
11. 学習場所や情報提供の拠点となる場所の提供	16	18.2%	12. その他	6	6.8%
13. 特になし	8	9.1%			

【コメント】最も多いのが「日本人との交流会やイベント」を行なうことで、45.5%に達する。また「外国人への偏見・差別をなくすための努力」が40.9%、「外国人と日本人の意見交換会・話し合い」が39.8%と高い数字を示している。

問18. 地域の日本人と理解しあい、小平市で共に生きていくまちづくりを進めるために、あなたは何かができると感じますか？（○はいくつでも）（88）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. あいさつなど声をかけ合う	42	47.7%	2. 気軽におしゃべりをする	45	51.1%
3. 生活習慣やルールを相談しあう	19	21.6%	4. 地域の日本人との話し合いを行う	28	31.8%
5. 地域の日本人との交流事業・イベントに参加する	42	47.7%	6. 地域の日本人との避難訓練や清掃などの地域活動に参加する	29	33.0%
7. 自分たちの国の文化・ことばを紹介する	25	28.4%	8. 日本語を学ぶ	38	43.2%
9. 通訳や日本語教室などのボランティア活動	29	33.0%	10. 日本の生活に慣れていない外国人支援の活動（NGO、NPOを含む）	33	37.5%
11. その他	2	2.3%	12. 特になし	2	2.3%

【コメント】最も多いのが「気軽におしゃべりをする」で51.1%、続いて「あいさつなど声をかけ合う」が47.7%、「地域の日本人との交流事業・イベントに参加する」が47.7%となっている。その他の項目も数字が高く、外国籍市民の方々の熱意が感じられる。

## 7. あなた自身について

問19. あなたの性別は次のどちらですか？（○は1つだけ）（84）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 男性	40	47.6%	2. 女性	44	52.4%

【コメント】男性と女性の回答がほぼ同じ割合である。

問20. あなたの年齢は次のどれにあたりますか？（○は1つだけ）（82）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 11～19歳	1	1.2%	2. 20～29歳	23	27.1%
3. 30～39歳	32	37.6%	4. 40～49歳	15	17.6%
5. 50～59歳	8	9.4%	6. 60～69歳	3	3.5%
7. 70歳以上	3	3.5%			

【コメント】留学生などの回答が多いので、20代、30代が最も多く、その他も年齢のバランス良く回答されている。

問21. あなたの国籍は次のどれにあたりますか？（○は1つだけ）（85）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 中国	31	36.5%	2. 韓国・朝鮮	14	16.5%
3. フィリピン	3	3.5%	4. 米国	4	4.7%
5. タイ	2	2.4%	6. ネパール	1	1.2%
7. インド	0	0%	8. 英国	1	1.2%
9. ベトナム	8	9.4%	10. インドネシア	2	2.4%
11. その他	19	22.4%	12. 無国籍	0	

【コメント】中国が36.5%、韓国・朝鮮が16.5%、ベトナムが9.4%と上位を占めている。その他には、ロシア、オーストラリアなどが複数ある。

問22. あなたが最も得意としている言語はどれですか？なお、2つ以上の言語を得意としている方は、主として読み書きの得意な言語を選んでください。（○は1つだけ）（85）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 日本語	21	24.7%	2. 中国語	33	38.8%
3. ハングル	10	12.9%	4. 英語	27	31.8%
5. フィリピン語	3	3.5%	6. タイ語	2	2.4%
7. ネパール語	1	1.2%	8. ヒンディー語	1	1.2%
9. インドネシア語	1	1.2%	10. ポルトガル語	2	2.4%
11. フランス語	2	2.4%	12. その他	8	9.4%

【コメント】最も多いのが「中国語」であり、次が「英語」となっている。英語を選択した人は様々な国籍のルーツがあり、その活用の広さを示していると言える。

問23. あなたの通勤・通学先はどちらですか？（○は1つだけ）（85）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 小平市内（自宅を含む）	15	17.6%	2. 東京都（23区内）	43	50.6%
3. 東京都（23区を除いた都内）	14	16.5%	4. 東京都以外	4	4.7%
5. 通勤・通学はしていない	8	9.4%			

【コメント】ほぼ半数が東京都内23区域に通勤、通学していることが分かる。

問24. あなたの仕事またはアルバイトの種類は何ですか？次の中から選んでください。なお、2つ以上の仕事をしている方は、主として従事している仕事を選んでください。（○は1つだけ）（83）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 経営者（飲食店）	0	0%	2. 経営者（物品販売）	3	3.6%
3. 経営者（その他）	0	0%	4. 事務職・営業職	11	13.3%
5. 教授・教師・研究員	10	12.0%	6. 医療・福祉の専門職	5	6.0%
7. 技術者・エンジニア	14	16.9%	8. 編集者・記者・カメラマン	0	0%
9. 翻訳・通訳	7	8.4%	10. 販売員・店員	3	3.6%
11. 清掃・建設・土木作業員	2	2.4%	12. 工場の労働者	4	4.8%
13. 運転手・配達員	0	0%	14. 飲食店の調理	1	1.2%
15. ウエイター・ウエイトレス	0	0%	16. ホステス・ホスト	0	0%
17. ダンサー・音楽家	0	0%	18. メイド・ベビーシッター	0	0%
19. その他	11	13.3%	20. 専業主婦（主夫）	3	3.6%
21. 仕事・アルバイトはしていない	9	10.8%			

【コメント】「技術者・エンジニア」が16.9%で最も多く、「事務職・営業職」の13.3%がそれに続く。その他様々な分野で働いていることが読み取れる。

問24-1. 【上の問24で1～19までのいずれかと答えた方】

あなたの仕事の立場は何ですか？次の中から選んでください（○は1つだけ）（68）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 自営業・経営者	7	10.0%	2. 会社役員	0	0%
3. 正社員（管理職）	8	11.4%	4. 正社員（一般）	26	37.1%
5. 派遣・契約社員	6	8.6%	6. パート・アルバイト（学生）	7	10.0%
7. パート・アルバイト（学生以外）	8	11.4%	8. 技能実習生・研修生	3	4.3%
9. その他	5	7.1%	10. わからない	2	2.9%

【コメント】正社員（一般）が37.1%で最も多く、次が「パート・アルバイト」となっている。個々でも幅広い職種に関わっていることが読み取れる。

問25. あなたは、どのくらい日本に住んでいますか？来日を繰り返している場合は通算してお答えください。

（○は1つだけ）（80）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 6ヶ月未満	0	0%	2. 6ヶ月以上～1年未満	4	4.8%
3. 1年以上～3年未満	14	16.9%	4. 3年以上～5年未満	13	15.7%
5. 5年以上～10年未満	18	21.7%	6. 10年以上～20年未満	16	19.3%
7. 20年以上～50年未満	17	20.5%	8. 50年以上	1	1.2%

【コメント】5年以上が60%を越えているので、回答者の多くが長期の定住者であることが分かる。

問26. あなたは結婚していますか？（○は1つだけ）（87）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 結婚している（配偶者は同国人）	19	21.8%	2. 結婚している（配偶者は日本人）	32	36.8%
3. 結婚している（配偶者は日本人以外）	2	2.3%	4. 結婚していない	34	39.1%

【コメント】ほぼ6割が結婚しており、日本社会の中で生活している人々であることが分かる。

問27-1. あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか？（○はいくつでも）（88）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 配偶者	43	48.9%	2. 子ども	34	38.6%
3. 自分の親	5	5.7%	4. 配偶者の親	3	3.4%
5. その他の親類	1	1.1%	6. 友人・知人	4	4.5%
7. その他	1	1.1%	8. いない	29	33.0%

【コメント】回答者の半数が「配偶者」と生活している。また子どものいる家庭も多い。

問27-2. 【上の問27-1の間で「2. 子ども」と答えた方のみ】

あなたのお子さんは何歳ですか？すべてのお子さんについてお答えください（○はいくつでも）（47）

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 6歳未満	17	36.2%	2. 6～12歳	14	29.8%
3. 13～15歳	5	10.6%	4. 16～18歳	4	8.5%
5. 19歳以上	7	14.9%			

【コメント】乳幼児のいる家庭が36.2%、小学校の子どもがいる家庭が29.8%となっている。

問27-3. 【上の問27-1の間で「2. 子ども」と答えた方のみ】

あなたのお子さんたちに、どのような形で文化・言語を身につけてほしいですか？（○は1つだけ）

(34)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 自国と日本の両方の文化・言語を身につけてほしい	32	94.1%	2. 日本の文化・言語を身につけてほしい	2	5.9%
3. 自国の文化・言語を保持してほしい	0	0%			

【コメント】「自国と日本の両方の文化・言語を身につけてほしい」が圧倒的に多く、94.1%に達している。

問27-4. 【上の問27-1の間で「2. 子ども」と答えた方のみ】

あなたが子育てをする上でどんなことに困難を感じていますか。（○はいくつでも）(34)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 行政の保育情報が分らない	3	8.8%	2. 子育てについて相談する場がない	2	5.9%
3. 子どもが日本語を学ぶ場がない	2	5.9%	4. 保育園や幼稚園、学校とのコミュニケーション	5	14.7%
5. 母語を学ぶ場がない	12	35.3%	6. 病院や薬局でのコミュニケーション	3	8.8%
7. その他	7	20.6%			

【コメント】「母語を学ぶ場がない」が最も多く、自分の文化、アイデンティティを保持することに不安を感じている。

問28. あなたの在留資格は何ですか？（○は1つだけ）

(88)

項目	実数	%	項目	実数	%
1. 教授	1	1.1%	2. 芸術	0	0%
3. 宗教	0	0%	4. 報道	0	0%
5. 投資・経営	1	1.1%	6. 法律・会計業務	0	0%
7. 医療	0	0%	8. 研究	1	1.1%
9. 教育	3	3.4%	10. 技術	2	2.3%
11. 人文知識・国際業務	9	10.2%	12. 企業内転勤	0	0%
13. 興行	0	0%	14. 技能	3	3.4%
15. 文化活動	0	0%	16. 短期滞在	0	0%
17. 留学	12	13.6%	18. 就学	0	0%
19. 研修	1	1.1%	20. 家族滞在	3	3.4%
21. 特定活動	2	2.3%	22. 永住者	29	33.0%
23. 日本人の配偶者等	12	13.6%	24. 永住者の配偶者	2	2.3%
25. 定住者	6	6.8%	26. 資格なし	0	0%
27. 高度専門職	1	1.1%			

【コメント】「永住者」が33.0%で最も多く、「留学」や「配偶者」が続く。

問29. 外国人市民と日本人市民がお互いに認め合い、協力し合って、小平市をもっと住みやすいまちにするために、あなたの意見を自由に書いてください。

【コメント】具体的な記述は省略するが、上記の間で出していた回答が具体的に示されており、多くの回答が切実なものである。総じて日本人や他国の外国籍住人といっしょに住みやすい小平であってほしいという願いが書き綴られている。

問30. 今回のコロナウイルス問題で困ったことはどんなことですか。

【コメント】具体的な記述は省略するが、アンケートを取った時期が2021年の7月から8月にかけてで、コロナ禍がはじまって1年後の回答である。コロナ禍そのものに対する意見と同時に、日本の行政や政府の対応についての意見が寄せられている。日本人が孤独の中にあることが問題となっていたが、外国籍住人はことばや仕事の制限などがあり、さらにその孤独感が強かったことが反映していると思われる。

#### IV. 課題

外国籍住人へのアンケートはその内容、ことば、費用などに高いハードルがある。住民基本台帳の閲覧は一人書きだすのに200円がかかり、しかも閲覧会場の使用が1時間単位で有料となっている。もちろん閲覧にあたっては大学の研究倫理審査を受け、小平市の許可が必要となってくる。そういう意味では民間レベルで調査することには限界がある。今回は小平市内に在住するおよそ5000人（2021年）の外国籍住人のうちのおよそ20%を対象にした調査であり、小平市在住の外国籍住人の全体を表しているというわけにはいかない。しかし一方で切実な要望が多く、こうした要望は地域に限られたものではなく、小平市に在住する、あるいは日本に在住する限り出される要望と言える。

今回の調査は、地域のコミュニティを再構築するにあたって保育所がその基盤となり、高齢者や家庭に引きこもっている青年あるいは大人、そして外国籍の人々を含めて、どのような形が求められているのかを明らかにする一環として、外国籍住人の要望や願いを聞くことが目的であった。その点では地域のコミュニティを構築するにあたって外国籍住人が大きな役割を果たすことができるのではないかという結果が得られたといえる。今後さらに分析と研究を重ねて、保育所を中心とした地域ネットワークにどのように組み込んでいけるのか研究したい。

#### 参考文献

- ・総務省自治行政局国際室長 2020 地域における多文化共生推進プランの改訂について（通知）
- ・瀧口優・瀧口真央 2013 小平市における多文化

共生の課題と提言 白梅学園大学 短期大学 教育  
-福祉研究センター年報 No.18

- ・瀧口優 2021 子どもの権利条約と多文化共生 教育905 旬報社
- ・練馬区 2012 練馬区国際交流・多文化共生基本方針
- ・文部科学省総合教育政策局 2019 外国人児童生徒受け入れの手引き改訂版 明石書店
- ・文部科学省総合教育政策局 2019 外国人児童生徒等教育の現状と課題
- ・中央教育審議会 2021 「令和の日本型学校教育」の構築をめざして